



小・中学生による土のうづくり



チェーンソーを使用した倒木除去



ドローンによる情報収集

令和5年度 郡上市防災訓練 現地訓練

いつか来る災害に備えて

9月3日（日）、和良総合グラウンド周辺を会場として「郡上市防災訓練現地訓練」を実施しました。自主防災会や（一社）郡上建設業協会、地元小中学生など、関係者約270人が参加し、災害時の初動対応の確認や避難所の開設などを行いました。

激甚化する 大雨災害を想定

毎年、全国各地で大雨による災害が発生しています。郡上市においても人的被害はないものの、土砂災害警戒情報（警戒レベル4相当）が発表されるなど、甚大な災害がいつ発生してもおかしくない状況が多々あります。

市では、各種災害における被害を最小限に抑えるため、毎年、「防災の日」に併せ防災訓練を実施しています。今年度は和良町を会場として、大雨を想定した防災訓練現地訓練を開催しました。

過去の被害を 想定した訓練

今回の訓練では、和良町で過去に実際に発生した電線を巻き込んだ倒木による道路の封鎖や孤立集落の発生を再現しました。実際の災害に近い状況を模擬した上で、関係機関が連携し、ドローンを使った危険箇所や被災状況の確認、チェーンソーや重機を使った障害物除去、大型土のうの設置や消防団と小中学生の土のう積みによる二次災害の防止、孤立集落の解消等、実践的な訓練を実施しました。



システムを使用した被害状況の確認（災害対策本部）



土のう積み



間仕切り段ボール等を使用した避難所の設営



倒壊家屋から救出



避難所訓練 心肺蘇生法



郡上市防災士会による非常時持出品等の啓発

自主防災会や小中学生による避難所開設

コロナなどの感染症に対する対策を講じておく必要があるため、3密（密集・密接・密閉）の感染症対策を講じた避難所開設と避難所運営訓練を実施しました。

屋内の訓練では、自主防災会が主体となり、避難所の開設や避難所内における避難者の生活スペースの確保を行いました。また、避難者の受け入れ方法や避難所における備蓄食料の作り方、ペット同行避難における注意点を確認しました。

自宅での災害対策

災害は忘れたころにやってきます。各家庭における災害対策について、家族で話し合いまししょう。

①家族の連絡先を確認
有事の際の連絡先を確認しておきましょう。

②備蓄品の備えと確認
食料などの備蓄品を事前に備え、有事の際に持ち出しができるようにしておきましょう。また、備蓄品が正常に作動するか定期的に確認し、食料は賞味期限を確認しておき

ましよう。

③自宅周辺の危険箇所の確認
各種ハザードマップを確認し、自宅周辺の危険箇所を事前に把握しておきましょう。

④避難先、避難経路の確認
避難先、避難経路を事前に確認しておきましょう。

⑤避難行動を行うタイミングの確認
どのタイミングで避難をするのか確認し、家庭内で共有しましょう。

⑥地域内の要配慮者の確認
支援を必要とする地域内の要配慮者がどこに住んでいるのか事前に確認し、地域内で支援者を決めておきましょう。

問 総務部総務課

67・1832

何を持って避難する？

自身の生活に合わせ、必要な物を把握しましょう

- 飲料水
- アルファ化米
- マスク
- 救急箱
- 携帯・簡易トイレ
- ウエットティッシュ
- 懐中電灯・予備電池 など